

ピープルズ・ホープ・ジャパン 2016年度事業計画

1. 概要

海外支援については、インドネシア、カンボジア、タイ、ベトナムの支援事業を継続し、ミャンマーのタツコン郡で母子保健改善活動の第一歩を踏み出します。

また東日本大震災支援については引き続き気仙沼、石巻、多賀城を中心に、病院の復興状況に応じた支援をしていきます。

2. インドネシア支援 (総事業費1,200万円)

① バンタン州セラン県ティルタヤサ自治区 衛生環境改善事業(自主事業)

今年度は、ティルタヤサ自治区内のスジュン村でパイロット活動として、衛生環境改善教育活動を実施します。トイレ・手洗い場の設置等、ニーズに応じたハード面での支援を行うと共に、教師との連携で学校内での衛生環境改善を図りながら、手洗い・掃除等の衛生習慣の習得・確立を目指します。清掃当番・美化委員等の環境維持機能の構築を行い、教師を中心に子供達が独自に活動するように支援を行い、自主性を育てていきます。また、楽しんで衛生やリサイクルについて学べるように、地元 NGO との連携のもと、人形劇や廃材利用での工作講習等の機会も設けていきます。学校での活動の定着を目指しながら、活動を学校内から村へと広げていき、同時に村の若年層をターゲットに、ボランティアグループ、ボランティアリーダーの育成を行います。若年層グループを中心として、村のゴミ削減につながるリサイクル推奨を勧めていき、ゴミの分別のシステムが機能するように働きかけていきます。

② バンタン州セラン県 自治区

今年度はセラン県保健省の要望に基づきセラン県の他の自治区を新事業地とし、地元のニーズを汲み、PHJがティルタヤサ自治区で10年にわたり展開してきた活動をベースに活動をします。自治区診療所レベルへの働きかけにより、医療従事者の能力向上(緊急時の処置・対応を特に強化)・ボランティアの育成強化を行っていきます。それと並行し、母親・妊婦そして妊婦予備軍である若年層の女性達への母子保健医療強化教育を通じ、女性層の知識・能力の向上が母子健康・家族の健康そして、村・コミュニティの健康強化へと繋がるよう啓発活動の支援を行います。2016年度は、2017年度へと繋がる準備期間として、新事業地での情報収集・関係構築をメインに行っていきます。

3. カンボジア支援 (総事業費 2,202万円)

① 母と子のための地域保健システム強化事業(補助金事業)

今年度は、2014年より開始したコンボンチャム州での「母と子のための地域保健システム強化事業」の2年目になります。1年目に集中的な能力強化研修を受けた保健行政区スタッフが、実際に保健センターへのモニタリング評価を実施できるよう支援を行います。引き続き保健センター准助産師への研修機会を提供すると共に、保健センターで適切な分娩介助を行えているかを確認します。また、保健ボランティアを育成し村での保健教育を行う他、村の妊産婦を戸別訪問して母子を支援する母子保健ボランティアを新たに育成します。

4. タイ支援 (総事業費 3,249万円)

① HIV/エイズ予防教育事業(補助金事業)

3年事業の最終年となる今年度は、新たな6つの高等専門学校を対象にHIV/エイズ予防教育を行います。1年目、2年目での課題、そして成果を活かし、活動を実施していきます。また本事業終了後も活動が継続していくよう、次年度ピアエデュケーターの育成サイクル作りや、関係者同士のネットワークの構築に注力していきます。

② HOPE パートナー教育支援（自主事業）

本事業は 1998 年以來継続しており、累計 228 名の患者に対する支援を行ってきました。本年度はタイ国籍を持たない患者を含め 21 名に対して支援を行います。リハビリセンターや病院での治療を奨励すると共に、家族が自宅でのリハビリケアを積極的に行えるよう、引き続き、看護師・理学療法士による家庭訪問に力を注いでいきます。

③ 小児先天性心臓病手術支援（自主事業）

今年度も引き続き多くの企業からのご支援のもと、子ども達の心臓病手術支援を行います。チェンマイ大学病院およびランパン病院での手術と、タイ国籍を持たない子供への支援も行います。また、小児心臓病に関するパンフレットや冊子を作成・配布し、病気やケアに関する正確な知識を持ってもらえるよう啓発活動も積極的に行います。

④ ベトナム乳がん早期発見事業（自主事業）

本年度は、ベトナム・ウィメンズ・ユニオン（VWU）と協同で実施している乳がん早期発見事業（3 年間）の最終年にあたります。5 省 5,000 名の女性に対して自己触診研修を実施するとともに、本事業が終了した後も VWU が継続して乳がん早期発見への啓発活動を行っていただけるよう、現地移管をスムーズに進めていきます。

5. ミャンマー支援（総事業費 2,433 万円）

村での母子保健教育を実施する準備として、まずは現地調査を行います。現地の女性たちの保健行動の実際を調査し、その結果を現場で働く保健スタッフにフィードバックし、村の女性たちに何が必要かを話し合います。16 年度に計画している活動は、助産師育成トレーニング、助産師ネットワーク構築と地域の協働促進、村での保健教育です。また、15 年度に輸入し寄贈準備を行ってきた、中古救急車の寄贈式を 7 月に実施します。現地での活動の大きな柱であるサブセンター建設については、雨季が終わり次第、2 つのサブセンター建設を始めます。

6. 東日本大震災支援活動（総事業費 720 万円）

気仙沼では個人・企業様からの寄付金を引き続き医師会と相談しながら病院復興に使っていきます。三井住友信託銀行様からの寄付金は、石巻包括ケアセンターの機能強化の為の医療機器やリハビリ用器械等の寄付が中心になります。多賀城は医療機器メンテナンス支援です。

2016年度 予算 (2015.7.1 ~ 2016.6.30)

(海外分を含む)

(単位 円)

科 目	2015年度		2016年度
	予算	決算	予算
I. 収入の部			
1. 現金寄付	77,730,000	71,164,584	70,910,000
法人	53,730,000	46,379,921	49,220,000
個人	7,000,000	6,881,500	6,300,000
パートナー	2,000,000	1,854,000	1,690,000
一時寄付	7,000,000	6,399,902	6,000,000
災害寄付	8,000,000	9,649,261	7,700,000
特別寄付	-	-	-
2. 商品寄付	10,000,000	1,120,700	10,000,000
3. 公的補助金	31,040,000	33,150,946	36,260,000
4. 雑収益 (利子等)		469,898	
当期収入 (現金)	108,770,000	104,785,428	107,170,000
当期収入 (商品)	10,000,000	1,120,700	10,000,000
当期収入合計 (A)	118,770,000	105,906,128	117,170,000
前期繰越 (現金)	68,606,315	68,606,315	58,364,817
" (商品)	0	0	0
収入合計 (B)	187,376,315	174,512,443	175,534,817
II. 支出の部			
1. 事業費	102,740,000 81%	94,567,276 81.4%	108,040,000 83.4%
現金	92,740,000	93,446,576	98,040,000
商品	10,000,000	1,120,700	10,000,000
2. 募金活動費	17,000,000 13%	15,233,417 13.1%	15,000,000 11.6%
人件費	10,000,000	9,370,000	8,700,000
経費	7,000,000	5,863,417	6,300,000
3. 管理費	6,500,000 5%	6,346,933 5.5%	6,500,000 5.0%
人件費	2,500,000	2,040,489	2,000,000
経費	4,000,000	4,306,444	4,500,000
支出合計 (C)	126,240,000 100%	116,147,626 100.0%	129,540,000 100.0%
現金	116,240,000	115,026,926	119,540,000
商品	10,000,000	1,120,700	10,000,000
III. 次期繰越 (B-C)	61,136,315	58,364,817	45,994,817
1. 現金	61,136,315	58,364,817	45,994,817
2. 商品 (在庫)	0	0	0